

FIG. 1, ATC-XP; ATC-SPORT; HFM

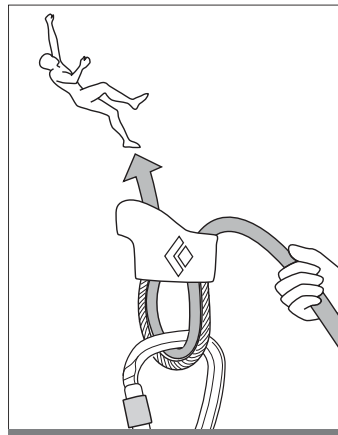


FIG. 2, ATC-XP; ATC-SPORT; RFM

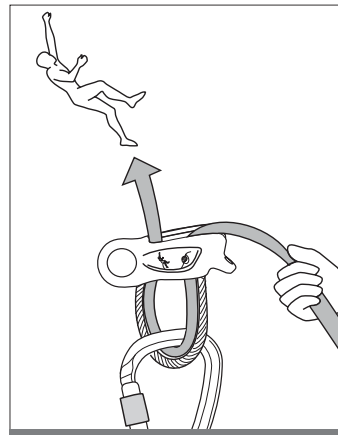


FIG. 3, ATC-GUIDE; HFM

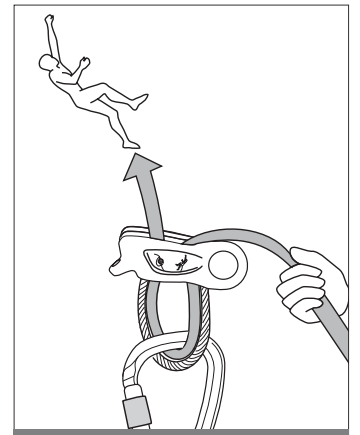


FIG. 4, ATC-GUIDE; RFM

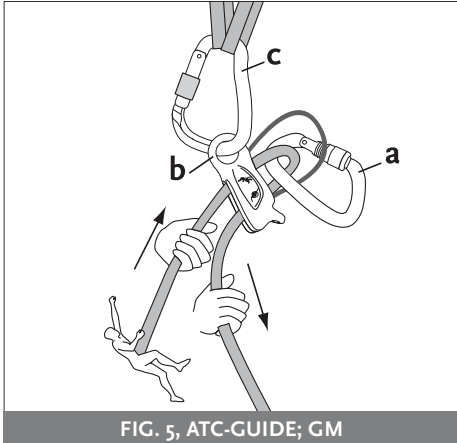


FIG. 5, ATC-GUIDE; GM

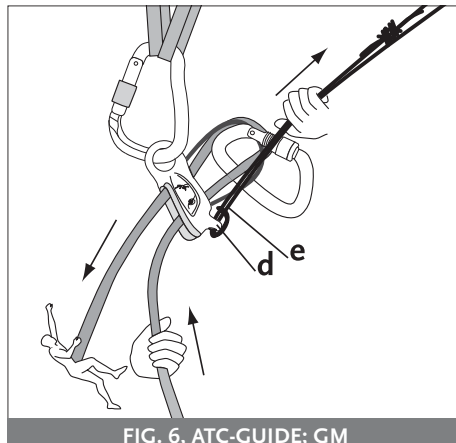


FIG. 6, ATC-GUIDE; GM

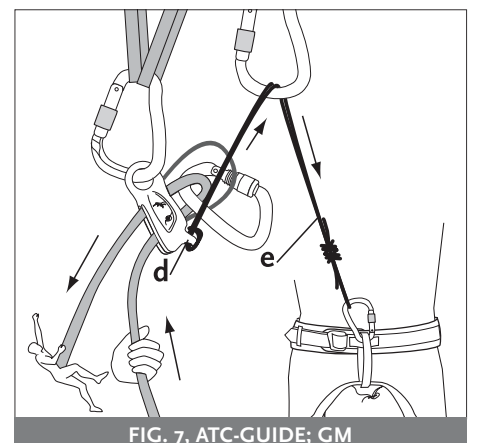


FIG. 7, ATC-GUIDE; GM

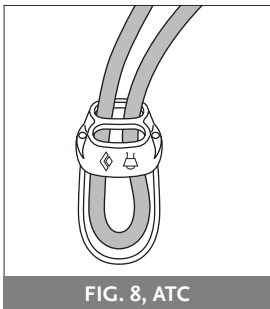


FIG. 8, ATC

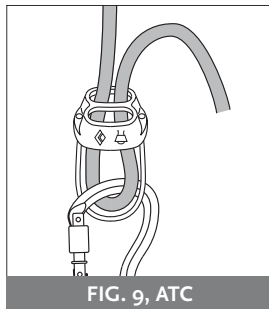


FIG. 9, ATC

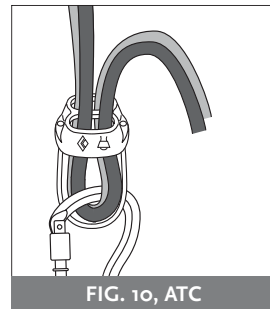


FIG. 10, ATC

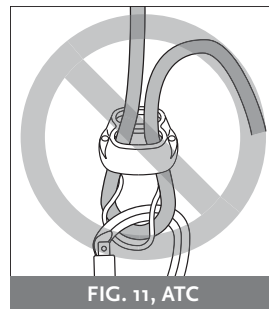


FIG. 11, ATC

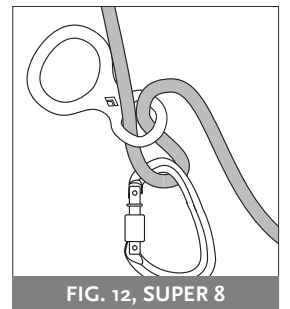


FIG. 12, SUPER 8

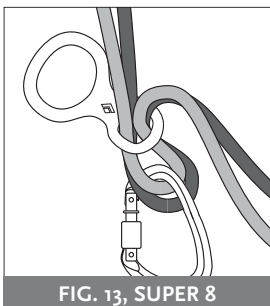


FIG. 13, SUPER 8

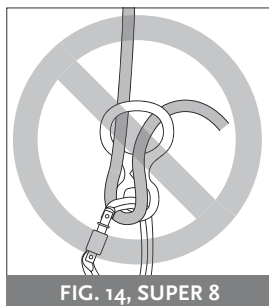


FIG. 14, SUPER 8

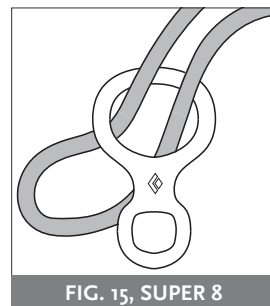


FIG. 15, SUPER 8

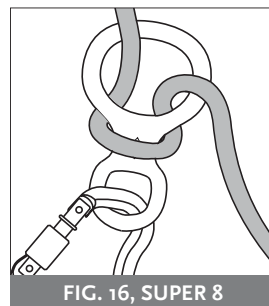


FIG. 16, SUPER 8

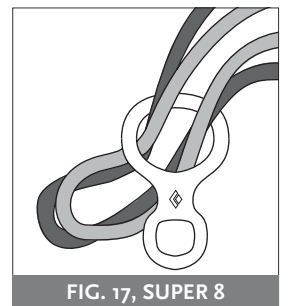


FIG. 17, SUPER 8

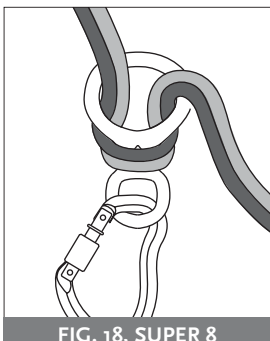


FIG. 18, SUPER 8

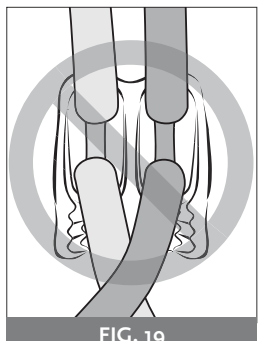


FIG. 19

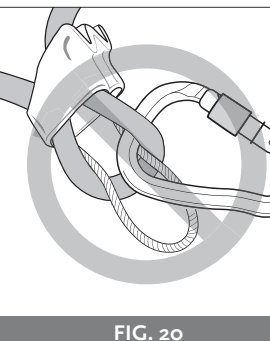


FIG. 20

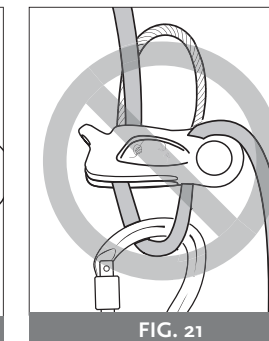


FIG. 21

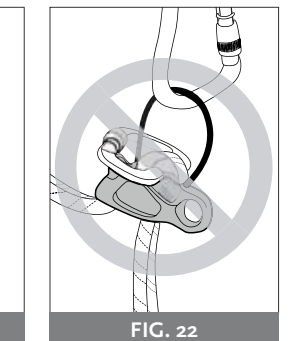


FIG. 22

## ブラックダイヤモンド ビレイデバイス 取扱説明書

※本製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。

### 警告

本製品はロッククライミング及び登山以外の用途には使用できません。ロッククライミング及び登山は危険を伴う行為です。そのことを事前に理解し、危険を受け入れることが決断です。また、その行為中の行動と必要は本人の責任において行って下さい。本製品を使用する前に、取扱説明書に記載されている使用方法と警告を理解し、製品の性能と限界を熟知しておいて下さい。全てのクライマーは適切な指導者から技術を習得することをお奨めします。ここに示した警告を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

### ビレイデバイスについて

ビレイは比較的単純な操作ですが完全な注意力と取り組みが要求されます。ビレイヤーはクライマーの墜落を止める役割を担い失敗は許されません。ビレイ/ラッペル時はどちらかの手で制動を掛けながらロープの流れを制御し、ブレーキハンドはどんな時でもロープから離さないで下さい。警告…細いロープを使ったビレイ/ラッペルは太いロープを使った時よりロープの流れが速く、制御がより難しくなります。適切な指導者にビレイとラッペルの動作を学び、常に最大限の注意を払って動作を行なって下さい。ATC-XP、ATCガイド、ATC、ATCスポーツ、スーパー8はロッククライミング、アイスクライミング、登山専用のビレイ/ラッペルデバイスです。速度の速いラッペルや設計外の用途には使用しないで下さい。ロープの流れが速くなればなるほど器具が高熱になり、ロープやハーネスが溶けたりユーザーが火傷を負うおそれがあります。

### ATC-XP、ATCガイド、ATCスポーツ

ATC-XP、ATCガイド、ATCスポーツは制動力の切替が可能なビレイデバイスでハイフリクションモード(HFM)とレギュラフリクションモード(RFM)があります。HFMは細いロープのビレイ、シングルロープでのラッペル、ハングドックのビレイ等、より強い制動力が要求される場合に使用して下さい。強い制動力を必要としない場合はRFMを使用して下さい。HFMではRFMの2～3倍の制動力が得られるため、ビレイ/ラッペルの状況に応じて適切な制動力を選ぶことができます。ATC-XP、ATCガイド、ATCスポーツは7.7mm～11mm径のロープに対応します。ロープは用途に従って使用して下さい。

### HFMとRFMの使い方

ATC-XP、ATCガイドはシングル/ダブル/ツインロープに対応します。ATCスポーツはシングルロープ専用です。  
1.1 本または2本のロープをU字形にしてATC-XP、ATCガイド、ATCスポーツの穴に通して下さい。ワイヤーケーブルが付いていない方から通して下さい。  
2.U字形に通したロープとATC-XP、ATCガイド、ATCスポーツのワイヤーケーブルの両方を、ハーネスに取付けたロックカラビナにクリップして下さい。HFMの場合、クリート(V字型の溝)がブレーキハンド側になります(イラスト1、3)。RFMではクリートの無い方がブレーキハンド側になります(イラスト2、4)。  
3. ロッキングカラビナのロックングスリーブを締めて下さい。  
4. 制動を掛ける時は、ブレーキハンドでしっかりロープを握り下向きに引して下さい。ATC-XP、ATCガイド、ATCスポーツのクリートもしくはエッジにロープが押しつけられることで摩擦が発生し、ロープの流れを制御したり墜落を止めたりラッペルすることができます。  
※ ATCガイドには1～2人の後続クライマーを上からビレイできるガイドモード(GM)があります。GMを正しく使うことで1～2人の後続クライマーの墜落を同時に止めることができます。

### ガイドモードの使い方(ATCガイド)

1. メタルアイ(b)にロックングカラビナ(c)をクリップしてビレイアンカーにセットして下さい(イラスト5)。  
2. ロッキングカラビナ(c)のロックングスリーブを締めて下さい。  
3.U字形にしたロープを、ワイヤーケーブルの付いていない方からATCガイドに通して下さい。HFMで使う時と同様に通して下さい。つまり、クライマー側のロープが上になり、メタルアイに近接してなければなりません(イラスト5)。  
警告…正しく器具に荷重されていることをチェックして下さい。正しく荷重されていないとロープの流れをロックすることはできません。

4. ループ状にしたロープとATCガイドのワイヤーケーブルの両方をロックングカラビナ(a)でクリップし、ロックングカラビナ(a)のロックングスリーブを締めて下さい(イラスト5)。  
5. ロープがたるまないように両手でたぐりながらビレイして下さい(イラスト5)。クライマーがテンションを掛けるとATCガイドがロックします。1人のクライマーがテンションを掛けた状態でも、もう1人のクライマーを引き上げることができます。  
警告…どんな場合でもブレーキハンドをロープから放さないで下さい。ATCガイドに髪の毛や衣服が噛んでいないかをチェックして下さい。2本のロープをATCガイドに通す時は同じ方向から通して下さい。凍ったロープはガイドモードの制動力を低下させます。  
注意…HFMでのビレイはオートロックデバイス程では無いし、ろくクライマーとプロテクションへの衝撃を増加させます。プロテクションが不安定なルートではRFMでのビレイをお勧めします。

### ガイドモードでクライマーをローダウンさせる方法(ATCガイド)

マルチピッチルートにおいてガイドモードのATCガイドを少し引き上げてロック解除することで、後続クライマーをローダウンさせることができます。  
1. スリング、細引き、ナッツ等(e)をリリースホール(d)に通して下さい(イラスト6)。  
警告…リリースホールをロック解除以外の用途に使わないで下さい。ローダウンの操作中は常にブレーキハンドを離さないで下さい。  
2. 後続クライマーの体重によっては、リリースホールに通したスリング類を引き上げるだけでロックが解除し、クライマーを降ろすことができます(イラスト6)。  
警告…ATCガイドのロックを解除する前にブレーキハンドをしっかりと握って下さい。解除と同時にロープが急激に流れるおそれがあります。  
3. ATCガイドの角度を調整しながらブレーキハンドでロープの流れを調整し、クライマーをローダウンさせて下さい。安全性を高めたい時はバックアップとして二次的なビレイを取って下さい。  
4. ATCガイドを引き上げるのが困難な場合はビレイアンカーにカラビナを掛け、リリーススリングをカラビナに通して体重を掛けてみて下さい(イラスト7)。この場合、リリーススリングの長さを延長して下さい。  
警告…ATCガイドのロックを解除する前にはブレーキハンドをしっかりと握って下さい。特に4の手順では、しっかりと握っていないとロック解除と同時にロープが急激に流れてしまい大変危険です。  
5. 後続クライマーの下降を止めたい時はリリーススリングから体重を抜き、ブレーキハンドを強く握って下さい。

### ATC

7.7mm～11mm径のロープに対応します。

### ATCの使い方

1.1 本もしくは2本のロープをU字形にして、ATCの小さい方の穴から通して下さい(イラスト8)。  
2.U字形に通したロープとATCのワイヤーケーブルの両方を、ハーネスに取付けたロックカラビナにクリップして下さい(イラスト9、10)。  
3. ロッキングカラビナのロックングスリーブを締めて下さい。  
4. ワイヤーケーブルの摩擦を防ぐためにロープとワイヤーケーブルが交差していないことを確認して下さい(イラスト11)。

### スーパー8

ブラックダイヤモンド「スーパー8」はベジックな「エイト環」デザインに改良を加え、軽さと使い勝手を向上させたビレイ/ラッペルデバイスです。スーパー8は従来のエイト環と同様、小さい方の穴を使ってビレイプレートとして使用できます。9mm径までのダブルロープ、11mm径までのシングルロープに対応します。

### スーパー8を使ったビレイの方法

1.1 本もしくは2本のロープをループにして、スーパー8の小さい方の穴に通して下さい。  
2. ロープのループを、ハーネスに取付けたロックングカラビナにクリップして下さい(イラスト12、13)。  
3. ロッキングカラビナのロックングスリーブを締めて下さい。  
警告…スーパー8の大きい方の穴を使ってビレイしないで下さい(イラスト14)。

### スーパー8を使ったラッペルの方法

1. ロープをU字形にしてスーパー8の大きい方の穴に上から通して下さい(イラスト15、17)。  
2. ロープのループにスーパー8の小さい方の

のリングをくぐらせ、ロープをステム部分(8の字のくぼんだ部分)に沿わせて下さい。  
3. スーパー8の小さい方の穴を、ハーネスに取付けたロックングカラビナにクリップして下さい(イラスト16、18)。  
4. ロッキングカラビナのロックングスリーブを締めて下さい。  
5. ロープがステム部分に沿わせてあることを確認して下さい。大きい穴だけにロープを通してカラビナに掛けることは絶対にしないで下さい。

### 警告

◆ビレイ/ラッペルの正しい方法を習得するために、適切な指導書を読み、十分に練習して下さい。誤った方法でビレイ/ラッペルを行うと、死亡や重傷を負う可能性があります。この取扱説明書はビレイデバイスの正しい使い方と限界について解説したものです。ビレイ/ラッペルの技術について解説するものではありません。  
◆ビレイデバイスの機能を効果的に発揮するために、ロープを正しく通し、どんな時でもブレーキハンドでロープをしっかりと握って下さい。墜落を止めるのはあなたの役割であるということを決めて忘れないで下さい。  
◆ロープが濡ったり泥が付いたり凍っている場合、ビレイデバイスの制動力と保持力は低下します。このような状況では、ビレイデバイスの種類を問わず、細心の注意を払って操作を行って下さい。  
◆全てのハーネスには違いがあります。ハーネスにビレイデバイスを取付ける際は必ずロックングカラビナを用い、取付けは各ハーネスの取扱説明書に従って下さい。  
◆この取扱説明書で説明している以外の方法でロープを通さないで下さい。  
◆どのビレイデバイスを使う時も、ロープ同士が交差しないようにして下さい(イラスト19)。ATC-XP、ATCガイド、ATC、ATCスポーツを使う時は、ロープとワイヤーケーブルが交差しないようにして下さい(イラスト20)。  
◆ビレイデバイスをロッククライミングやアイス/ミックスクライミングのプロテクションとして使わないで下さい。  
◆ここに掲載されているビレイデバイスはソロクライミングには使用できません。  
◆ATC-XP、ATCガイド、ATCを逆向きで使用しないで下さい(イラスト21)。  
◆ATC-XP、ATCガイド、ATCのケーブルだけをアンカーにクリップすることはしないで下さい(イラスト22)。  
◆使用中に髪の毛、衣服の裾、制動している手などが器具に巻き込まれないようにして下さい。  
◆ここに掲載されているビレイデバイスで高速の懸垂下降を行わないで下さい。器具が熱くなってロープの外被やハーネスを焦がしたり、ユーザーが火傷を負うおそれがあります。  
◆傷んだロープや外被に緩みのあるロープをビレイすると、外被がずれてたるみが発生し、ビレイデバイスに噛んでしまうおそれがあります。

### 点検と寿命

使用する前後に破損や磨耗がないか必ず点検して下さい。全てのクライミングギアに寿命があります。以下のような場合は使用をやめて破棄して下さい。  
1. ロープとの摩擦で著しくすり減ったり溝ができています。  
2. 本体にクラック、欠損が見られたり、ロープ接触面にバリ、曲がり、溝が見られる。  
3. ワイヤーケーブルが擦り切れたりほつれたりしている。  
4. 腐食が見られる。  
5. 高い場所から落としてしまった。  
ビレイデバイスにいかなる改造も加えないで下さい。一度でも改造を加えたビレイデバイスはダメージを受けたものとみなし使用しないで下さい。信頼性に少しでも不安を感じる場合は、使用をやめて下さい。破棄する時は再使用されないように破棄して下さい。

### 手入れと保管

1. 直射日光の当たらない、清潔で乾燥した場所に保管して下さい。  
2. ラジエーターやストーブなど熱源の近くに保管しないで下さい。  
3. バッテリー液や溶剤など腐食性の薬品に触れないようにして下さい。  
4. 潮風に晒したり海水に浸けてしまったら冷水で十分にすすいで下さい。

### 中古品について

中古品を使用しないで下さい。道具を信頼して使うためには使用履歴を把握している必要があります。中古品は安い価格で購入できるかもしれませんが、信頼性のある新品の代用にはなりません。

### 1年間保証

ご購入いただいた日から1年間、第一購入者に限り、品質もしくは製造上の欠陥が見つ

かった場合無償交換いたします。欠陥が見つかった場合、ご購入店にお持ち込みいただくか、輸入代理店に直接お送り下さい。製品を無償にて新品交換いたします。無償交換をこの保証における責務の上限とし、保証期間の満了とともに、その責務も終了するものとします。

### 保証の対象外

以下のケースは1年間保証の対象外となります。通常の摩擦、認められていない改造や変更、不適切な使い方と手入れ、事故、誤用、不注意、目的外の使用。

ブラックダイヤモンド日本総代理店

株式会社ロストアロー

〒350-2213

埼玉県鶴ヶ島市脚折 1386-6

TEL:049-271-7113(ユーザーサポート)

e-mail: info@lostarrow.co.jp

www.lostarrow.co.jp